

19. $^{99m}\text{Tc-MAG}_3$ による腎血管性高血圧に対する血管
拡張術の治療効果判定

早瀬 直子 村田 和子 黒原 篤志
秦 康博 藤原 良将 福本 光孝
久 直史 吉田 祥二 (高知医大・放)

線維筋性異形成による腎血管性高血圧の2症例に対して、経皮的腎血管形成術を施行した。術前後に $^{99m}\text{Tc-MAG}_3$ を使用し renogram を施行し、診断、治療

効果判定を行った。2例とも、血圧が正常範囲に改善したのに対して renogram では、ほぼ正常に回復したものと、ごく軽度の改善傾向のみがみられたものがあり、異なる所見が得られた。原因として腎実質障害、腎動脈狭窄の残存が考えられたが、renogram は臨床上、有意な所見の見られない場合でも腎機能評価が可能で、治療効果判定に有用であると考えられた。また今回施行しえなかったが、術前にカプトプリル負荷腎シンチグラムを施行することの必要性についても若干の考察を加えた。